

二小だより

土浦市立土浦第二小学校 2012.11.14
<http://www.tsuchiura.ed.jp/~nisho/>

校長室の窓から

暦の上では、冬となりました。季節の変わり目で寒暖の差も大きいため、風邪気味、ぜんそく気味の子どもたちも見られます。体調管理と健康維持のため、十分な休養としっかりした予防対策をとりたいと思っています。そのような中、学校では持久走記録会に向けて練習が始まっています。毎朝の検温等が健康保持にもつながりますので、お忙しい時間帯だとは思いますが、ご協力をお願いいたします。

さて、過日行われました校内音楽会・リハーサルへの参加、ありがとうございました。やはり、子どもたちの力は大きいと思いました。そして、二小だからできる音楽会だとも思っています。今年のスローガンは

「広い宇宙にひびかせよう 夢と絆のハーモニー」

金環日食をはじめ宇宙を身近に感じるが多かったこの一年、広い宇宙にステキなハーモニーを届けようと、このようなスローガンを子どもたちが考えました。そして、各学年とも宇宙をイメージできる曲を選びました。

- 1年 きらきらぼし・ちきゅうのひろば
- 2年 うちゅう人にあえたら・お陽さまになって

低学年のかわいらしさと、二小の歌声に近づこうとするがんばりが感じられ、とてもほほえましく思いました。

- 3年 ほしまつり
 - 4年 さあ太陽を呼んでこい
- 3・4年には、リコーダー演奏が入ります。音楽会のために練習することにより、運指を覚えるきっかけにもなっています。歌声は、二小らしくなり自信をもって歌うことができました。そして、「さあ太陽を呼んでこい」を懐かしいと思ったのは私だけでしょうか。

- 5年 地球星歌 (笑顔のために)
 - 6年 COSMOS (コスモス)
- アカペラで歌った「ソーラン節」原語で歌った「Hey Jude」。さすが、高学年という歌声でした。

歌詞を理解し心のこもった歌声は、聴く人の心も揺るがすことができます。「静かに」と言わなくても、自然と静かになるものです。そのような歌声を聴いても何となく落ち着かないのは、心が育っていない状況にあるのかもしれない。二小の子どもたちは、そのような歌声を聴き分ける力が育っています。音楽会後の感想を読むと、自分たちが一生懸命歌えたという満足感を表したものがたくさんありました。また、6年生は「今までの6年生のように歌えるか心配だった」「今年も6年生が最高の歌声でよかった」など、最上級生としての気持ちが、きちんと受け継がれているのを読み取ることができ、とてもうれしく思いました。1年から6年まですべての子どもたちの気持ちが、二小の音楽会を支え、高度な音楽会をつなげていく伝統の力です。

この行事のねらいは
 ・達成感・満足感を感じさせること
 ・音楽を通して、協力性や思いやり、優しさなどの心を育てること でした。
 子どもたちの様子から、十分ねらいは達成されたようです。いいものを創る、いいものを聴くなどの実体験は、素晴らしい効果をもたらしたようです。



リコーダー演奏(4年)



ロケット発射!!(2年)

「学習規律・生活における基本的習慣」と「学力」の関係

11月は、1年の折り返しに入りました。朝自習の時間、校舎内は非常に静かです。1年生の廊下も静かになり、教室を覗くと、読書の日にはみんなが本を机の上に立て、真剣に読書をしています。1学期の様子とは、ずいぶん違ってきました。

例年、4月に全国学力・学習状況調査が行われ、今年は、本校の6年生も実施いたしました。この調査は、教科に関する調査(国語、算数、理科)

主として「知識」に関する問題
 主として「活用」に関する問題
 と、生活習慣や学校環境に関する質問紙調査で構成されています。



生活質問紙の内容は、
 国語の勉強は好きですか、
 授業の内容はどの程度分かりますか、
 一日にテレビを見る時間、読書時間、勉強時間の状況 など。
 学力学習状況調査は、「知識」「活用」の問題がどれだけ解けているかだけでなく、問題の正答率と、生活質問紙との相関関係を調べているところに特徴があります。

当然の結果ではありますが、
 ・規則正しい生活をしている
 ・家の手伝いをよくしている
 ・学校や友達の約束(きまり)を守っている
 ・近所の人に会ったときはあいさつをしている と答えた子どもの正答率は高くなっています。
 理科を例にとると、授業においても以下と回答している子どもの方が、正答率が高い傾向が見られます。

・理科の勉強は好き
 ・理科の勉強は大切だと思う
 ・理科の授業の内容はよく分かる
 ・理科の授業で学習したことは、将来、役に立つと思う
 このようなあたりまえに思うことを、学校では授業とともに大切にしています。



- ・あいさつや黙働がしっかりできること
- ・時計を見て生活できること
- ・学習用具の忘れがなく、授業のはじめには用意ができていること
- ・人の話を落ち着いて聞くことができること
- ・机の中や周りの整理整頓ができること
- ・友だちがいやがることはしないこと
- ・廊下をゆったりとした気持ちで歩けること など。

調査の結果が示しているように、学力向上の1つの要素は、生活規律・学習規律がしっかり身につけていることです。子どもたちには、それらがあたりまえにできることになろうと話しています。だから、朝自習の廊下が静かになることは当然のことなのです。

また、今年の6年生は、
 「400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思いますか」
 「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思いますか」

という質問に、「どちらかといえば難しいと思わない」「難しいと思わない」と答えた児童が半数以上でした。書くことをいとわない、これは素晴らしいことだと思います。6年の各学級の掲示物を見ても、非常に文章力があることが分かります。これらは、ノートや自主学習にも現れており、中学生になっても役立つものとして頼もしさを感じます。歌声だけでなく、このような6年生を目指してがんばりたいものです。

整理整頓を



2学期の始業式、子どもたちにあたりまえのレベルアップということで、特に「整理整頓を」と話しました。物を整理整頓することは、頭の中の整理整頓にもつながる、だから、きれいに整理整頓された教室で学習することは大切だと思います。雑然とした中でも力を発揮する人はいますが、大方の人は落ち着きません。子どもたち一人ひとりの机の中やランドセルの中がゴチャゴチャになっていると、物がすぐ出せなかつたり、忘れ物が多かつたりします。

ぜひ、ご家庭でもランドセルの中や机の周りの様子にも注意してみてください。低学年は、一人で準備するには、手助けが必要となることもあります。一緒にやってみて、覚えていくこともありますので、ご協力をお願いいたします。

